



一般社団法人 高山市文化協会 発行

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内  
 Tel.34-6550 Fax.34-6877  
 メールアドレス●mail@takayama-bunka.org  
 ホームページアドレス●http://www.takayama-bunka.org  
 (文化会館の催し物案内はこのホームページをご覧ください。)

No.178 2016.7.4 Culture in Takayama

## 歌舞伎プレセミナーを開催

講師 元NHKアナウンサー 葛西聖司



「高山の人は熱心で、夜でも聞きに来てくれるんですね」と語る葛西さん。「今回の歌舞伎は、東京で見るとはちよつと違うので、その違いも説明したい。高山に行くのを楽しみにしています。」と話しておられます。

昨年引き続き、元NHKアナウンサーの葛西聖司さんの講演があります。松竹大歌舞伎、三代猿之助の「獨道中五十三驛」の歌舞伎について、どこをどう見れば良いのか、お話いただきます。

葛西さんは、ステージの上からでなく客席の中に入って、客とお互いの顔を見ながら一緒にセリフをしゃべった多数あります。

## 松竹大歌舞伎

・獨道中五十三驛  
 ・浄瑠璃一写書東驛路

出演 市川猿之助  
 板東巳之助 他



10/3 月 午後6:30~

高山市民文化会館 大ホール

チケット発売 8/6(土) メセナイト先行 10:00~  
 一般発売 13:00~  
 チケット料金 一等席7,000円(会員6,500円)  
 二等席5,000円(会員4,500円)  
 小人(18歳以下)1,000円(一、二等席共通)

### 「歌舞伎プレセミナー」

◇日時 八月五日(金)  
 午後七時

◇会場 文化会館小ホール

◇入場無料(要整理券)

整理券は七月一日より文化会館窓口にて配布

(一社)高山市文化協会加盟団体

文化協会後援 催事案内

高山市美術展覧会運営委員会

委員展

◇日時 七月九日(土) 十時~十二時

◇会場 文化会館二階展示室

◇入場無料

語り部ねつと飛騨高山朗読会

第一回 小さな朗読会

◇日時 七月十日(日)  
 午後二時

◇会場 文化会館四階大会議室

◇入場無料

日本の太鼓 頂上響演

◇日時 七月十七日(日)  
 午後一時

◇会場 飛騨・世界生活文化センター 飛騨芸術堂

◇料金 全席自由二千円

※高校生以下 無料(チケット不要)

### 初心者講座の追加

前号でお知らせした初心者講座のうち、「初めての日本画」は、夜間(午後七時~九時)の講座を追加しました。お申し込みは、文化会館一階窓口へ。

## 第40回 飛騨文芸祭 作品募集中

飛騨文芸祭は今回で40回目となりました。今年も多数のご応募をお待ちしております。

- ◇対象 飛騨地域在住・在勤・出身者
- ◇ジャンル 小説・戯曲・児童文学・随筆・エッセイ・評論・現代詩(3篇)・短歌(10首)・俳句(10句)
- ◇応募方法 氏名(筆名)、住所、電話番号、ジャンルを明記の上、郵送、メール又は文化会館までお持ちください。平成28年8月15日(月) 当日消印有効
- ◇締切 無料
- ◇参加費 無料
- ◇問合せ (一社)高山市文化協会 Tel.34-6550

### 「風目(目)」

東山のお寺で先日、ジャズの生演奏があった。それは異様な光景であった。

半眼で座って動かぬ仏様の前で、ジャズのドラムが響き、黒人女性歌手が歌って踊った。演奏が進むにつれて、本堂満杯の二〇〇人余りの観客の熱狂は高まっていて、皆手を叩いて踊り始めた。

赤ん坊を抱いて踊っていた若い母親は、「普通の音楽会では赤ん坊が泣くので行けないが、ここでは大丈夫」と言った。

生演奏は、バンドのジャーンと言う金属音が始まった。仏様の前のガンモンモの音を意識した演出ではないかと私は思った。この寺の跡取りは医者でもある。異様な光景の中で少し考えた。「お寺は死んだ者のためだけに在るのではない。これから生きていく者のためにも在らねばならぬ」と。

死と向いあつてこそその生。仏様の前で、汗をかいてしなやかに踊り歌う黒人女性はセクシーであった。確かに歓喜仏なんて仏様もいたなあと考えた。

仏様と外国人のジャズ生演奏。考えてみたら、お釈迦様も、元々外国人だった。(ガンモン毛筆)